

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【公開番号】特開2008-104165(P2008-104165A)
 【公開日】平成20年5月1日 (2008.5.1)
 【年通号数】公開・登録公報2008-017
 【出願番号】特願2007-243648(P2007-243648)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/12 Z

B 6 5 H 5/06 M

B 6 5 H 5/06 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月14日 (2010.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿を読み取る第 1 の読み取り手段と、

前記原稿の搬送方向において前記第 1 の読み取り手段の上流に配置され、第 1 の搬送速度で前記原稿を搬送する第 1 の搬送手段と、

前記原稿の搬送方向において前記第 1 の読み取り手段の下流に配置され、前記第 1 の搬送速度よりも速い第 2 の搬送速度で前記原稿を搬送する第 2 の搬送手段と、

前記第 1 の読み取り手段が前記原稿を読み取っている間に前記原稿の搬送速度が前記第 1 の搬送手段の前記第 1 の搬送速度から前記第 2 の搬送手段の前記第 2 の搬送速度に変動する場合、前記第 1 の読み取り手段が前記原稿を読み取る間の前記第 1 の読み取り手段の主走査の一走査時間を前記第 1 の読み取り手段により読み取られる原稿のサイズに応じて制御する制御手段と、を備えることを特徴とする画像読み取り装置。

【請求項 2】

前記第 2 の搬送手段の原稿保持力は、前記第 1 の搬送手段の原稿保持力よりも大きいことを特徴とする請求項 1 記載の画像読み取り装置。

【請求項 3】

前記第 2 の搬送速度と前記第 1 の搬送速度との速度差は、前記第 1 の搬送手段と前記第 2 の搬送手段との間で前記原稿にたるみが起きない速度差であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像読み取り装置。

【請求項 4】

前記第 1 の読み取り手段は、前記原稿の第 1 面を読み取るものであり、

前記原稿の第 2 面を読み取る第 2 の読み取り手段が、前記第 1 の搬送手段の下流かつ前記第 2 の搬送手段の上流に更に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像読み取り装置。

【請求項 5】

前記第 1 の読み取り手段及び前記第 2 の読み取り手段はそれぞれ、前記第 1 の搬送手段及び前記第 2 の搬送手段の少なくとも一方が前記原稿を搬送している間に、前記原稿の第

1 面及び第 2 面を読み取ることを特徴とする請求項 4 記載の画像読み取り装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記第 1 の読み取り手段及び前記第 2 の読み取り手段により読み取られる前記原稿のサイズに応じて前記第 1 の搬送速度及び前記第 2 の搬送速度を制御することを特徴とする請求項 5 記載の画像読み取り装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記第 2 の読み取り手段により読み取られる画像のサイズを読み取る原稿のサイズに合わせるように前記第 1 の搬送速度及び前記第 2 の搬送速度を制御し、前記第 1 の読み取り手段により読み取られる画像のサイズを読み取る原稿のサイズに合わせるように前記第 1 の読み取り手段の一走査時間を制御することを特徴とする請求項 6 記載の画像読み取り装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

上記目的を達成するために、本発明に係る画像読み取り装置は、原稿を読み取る第 1 の読み取り手段と、前記原稿の搬送方向において前記第 1 の読み取り手段の上流に配置され、第 1 の搬送速度で前記原稿を搬送する第 1 の搬送手段と、前記原稿の搬送方向において前記第 1 の読み取り手段の下流に配置され、前記第 1 の搬送速度よりも速い第 2 の搬送速度で前記原稿を搬送する第 2 の搬送手段と、前記第 1 の読み取り手段が前記原稿を読み取っている間に前記原稿の搬送速度が前記第 1 の搬送手段の前記第 1 の搬送速度から前記第 2 の搬送手段の前記第 2 の搬送速度に変動する場合、前記第 1 の読み取り手段が前記原稿を読み取る間の前記第 1 の読み取り手段の主走査の一走査時間を前記第 1 の読み取り手段により読み取られる原稿のサイズに応じて制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

本発明によれば、第 1 の搬送速度で原稿を搬送する第 1 の搬送手段が、原稿の搬送方向において原稿を読み取る第 1 の読み取り手段の上流に配置され、第 1 の搬送速度よりも速い第 2 の搬送速度で原稿を搬送する第 2 の搬送手段が、原稿の搬送方向において第 1 の搬送手段の下流に配置され、制御手段は、第 1 の読み取り手段が原稿を読み取っている間に原稿の搬送速度が第 1 の搬送手段の第 1 の搬送速度から第 2 の搬送手段の第 2 の搬送速度に変動する場合、第 1 の読み取り手段が原稿を読み取る間の第 1 の読み取り手段の主走査の一走査時間を第 1 の読み取り手段により読み取られる原稿のサイズに応じて制御する。